参考資料　用語集

【あ行】

◆アイデンティティ

…心理学の用語で、「自己同一性（自分の正体、自分という存在の自己証明）」のこと。都市の個性や独自性といった意味で使われる。

◆アクセス

…目的地への連絡のための交通の便や手段。

◆ＡＤＳＬ

…一般のアナログ電話回線を使ってインターネットに接続するサービスのこと。現在最も普及している方式で、対応エリアも広い。

◆ＮＰＯ

…「Non　Profit　Organization」の略。教育・社会福祉・環境保全・交流など、多様な分野において、利潤を上げることを目的としない活動を行う団体で、特定非営利活動促進法に基づく法人格を取得した団体（特定非営利活動法人）のこと。

◆延焼遮断帯

…一定規模の市街地の外周を囲むように、帯状の都市施設である道路・河川・鉄道及び公園と沿線の建築物の不燃化を有機的に組み合わせ、延焼火災を分断する空間。

◆オープンスペース

…公園や広場などのゆとりある空間。開けた空間・場所。

【か行】

◆合併処理浄化槽

…生活雑排水とし尿をあわせて処理する浄化槽のこと。し尿のみを処理する単独処理浄化槽に比べ、水質汚濁物質の削減量が極めて多い。

◆環境にやさしい農業

…　地域で従来から行われている方法に比べて農薬や化学肥料の使用量を減らしたり、堆肥による土づくりを行うなど、環境に配慮した農業をいう。

◆環境への負荷

…人の活動により環境に加えられる影響であって、環境を保全する上で支障の原因となるおそれがあるもの。

◆幹線道路

…原則２車線以上の道路であり、地域相互を連絡する生活関連道路の骨格を構成し、主要幹線道路（高速道、国道等）を補完するものでアクセス機能や走行の円滑性、快適性を重視した道路。

◆基幹道路

…高速交通ネットワークを補完し、県内の幹線道路網の一部をなす、広域交通と通過交通の処理を目指すもの。高速交通体系から離れた十日町市で、県内の主要都市や隣接する各地域を連絡し、広域交通の導入を図る。

◆協働

…役割を分担して、相互に協力しながら事業を実施する体制。

◆クリーンエネルギー

…電気や熱に変えても、二酸化炭素（CO2）や窒素酸化物（NOx）等の有害物質を排出しない、または排出が相対的に少ないエネルギー源のこと。太陽光、水力、風力、地熱等のほか、化石燃料の中では有毒物質の発生が少ない天然ガスもクリーンエネルギーと呼ばれることがある。

◆グローバル化

…経済活動などが、世界的な規模へと広がること。

◆景観法

…都市、農山漁村等における良好な景観の形成を促進し、美しく風格のある国土の形成とうるおいのある豊かな生活環境を創出するために平成 16 年に施行された法律。

◆県立自然公園

…県内にある優れた自然風景地について、自然公園として県が指定し、管理も基本的に県が行っている。
現在、県内には 13 の県立自然公園があり、本市には「直峰松之山大池県立自然公園」がある。

◆公益的機能

…森林や農地、河川や海などが持つ、県土の保全、水資源のかん養、水質・大気の浄化、多様な野生生物の生息を可能とする空間の保全や健康づくりなどの多面的な機能。

◆公共下水道

…主として市街地における下水（雨水・汚水）を排除し、または処理するために、地方公共団体が管理する下水道。

◆公共公益施設

…住民の生活のために必要なサービス施設の総称。一般的には教育施設、官公庁施設、医療施設、コミュニティ施設等をいう。

◆豪雪地帯（特別豪雪地帯）

…　積雪が特にはなはだしいため、産業の発展が停滞的で、かつ、住民の生活水準の向上が阻害されている地域における産業の振興と民生の安定向上を目的として、「豪雪地帯対策特別措置法」（昭和 37 年法律第 73 号）第２条第１項に基づき指定されている区域をいう。このうち、同法第２条第２項に基づき指定されている、積雪の度が特に高く、かつ、積雪により長期間自動車の交通が途絶する等により住民の生活に著しい支障が生じる地域を特別豪雪地帯という。

◆庫通結節点

…駅前広場やＩＣなど各種交通手段の乗り継ぎ、乗り換え等が行われる場所。

◆交流人口

…十日町市に住んではいないが、観光、通勤・通学、買物などで本市に訪れる人口のこと。

◆高齢化集落

…過疎化などで人口の 50%が 65 歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落のこと。

◆克雪住宅

…多雪地域の建物で屋根の雪かきの必要が無いように工夫した住宅。屋根雪を下ろしても居住空間が埋まらない高床式住宅や落雪式、融雪式、耐雪式等がある。

◆克雪用水

…消雪パイプの稼動により使用される消雪用水及び流雪溝に使用される流雪用水（ただし、農業用水を利用している流雪溝は含まない）。

◆コミュニティ

…共同体。地域社会。都市計画では、主として住民相互の協力と連携による地域のまちづくりを進める場合などに使われる。

◆コミュニティバス

…地域での必要目的に合わせてルートや運行形態などを工夫し、より生活に密着した移動手段を提供するバス。

◆コンパクトな都市

…空間の高度利用と公共交通ネットワーク整備により、環境負荷とエネルギー消費が小さく、かつ都市機能の維持コストが小さい効率的な都市構造を保つ、自然・生活環境重視の都市。

【さ行】

◆里山

…人里に近く、人との関わりが深い丘陵ないし低山地帯の森林。里（村落）との結びつきの強さがこめられており、奥山に対する語。

◆市街地再開発事業

…市街地の土地の合理的で健全な高度利用と都市機能の更新を進めるため、都市再開発法に基づいて、建築物と建築敷地の整備にあわせて、公共施設の整備を行う事業。

◆自然環境保全地域等

…新潟県では、県内の優れた動植物・地形地質・文化史跡等の自然環境を保全するため、「新潟県自然環境保全条例」に基づき「自然環境保全地域」及び「緑地環境保全地域」を指定している。本市では、中里地域の「小松原亜高山性植生及び湿原」が自然環境保全地域に、「長安寺のブナ林」が緑環境保全地域にそれぞれ指定されている。

◆自然的土地利用

…農林業的土地利用に、自然環境の保全を旨として維持すべき森林、原野、水面、河川、海浜などの土地利用を加えたものをいう。都市的土地利用以外の土地利用を総称したもの。

◆自然動態と社会動態

…人口動態の要因のうち、出生数と死亡数の差による変化の状況を自然動態という。また、一定地域に流入してくる人口と流出していく人口の差による変化の状況を社会動態という。

◆循環型社会

…これまでの大量生産・大量流通・大量消費・大量廃棄という社会システムの反省に立ち、持続的な開発が可能な、地球にやさしい暮らし方をする社会。

◆準高齢化集落

…過疎化等で、55 歳以上の人口比率が 50%を超えている集落のこと。現在は共同体の機能を維持しているが、跡継ぎの確保が難しくなっており、高齢化集落の予備軍となっている状態である。

◆準防火地域

…防火地域とともに、市街地における火災の危険を防ぐために定める区域のこと。防火地域及び準防火地域が定められていることにより、区域内に建築する場合、規模などにより建築物の耐火基準が定められている。

◆少子高齢化

…1990 年（平成 2 年）代に特に顕著になった低出生率の持続と、1935 年（昭和 10 年）以来、高齢人口（65 歳以上）の全人口に占める割合が持続的に上昇する社会変化。なお、高齢化が進行して高齢人口の比率が約 14%以上の高い水準に達し、それが持続する社会を高齢社会という。

◆上越魚沼地域振興快速道路

…北陸自動車道上越ＩＣから関越自動車道六日町ＩＣを経由して南魚沼市の一般国道 17 号六日町バイパス余川ＩＣに至る延長約 60km の地域高規格道路。上越地域と魚沼地域を相互に連絡し、高速道路空白地域に交通網を形成するとともに両地域間の交流を目的とした路線と位置づけられている。

◆水源のかん養

…樹木や植生などにより雨などの地下浸透を促し、ため込んだ水を徐々に流出させる森林の機能。洪水や渇水を防ぐ役割を果たす。

◆生物多様性

…地球上の生物の種や生息・生育環境の多様さを表す概念。健全な自然環境が維持されるためには、生物の多様性を確保することが不可欠であるとされる。

◆雪寒施設

…雪崩や地吹雪などの雪害を防止する雪崩予防柵やスノーシェッド、スノーシェルター等。

【た行】

◆第三セクター

…国や地方公共団体と民間企業との共同出資で設立される事業体。

◆地域高規格道路

…広域的な地域の連携・交流を促進する自動車専用道路並みの質の高い道路。

◆地下水かん養

…降水や河川水などが地下に浸透し、帯水層に水が供給されること。

◆地球温暖化

…石炭や石油など化石燃料の大量消費により排出された二酸化炭素などを主な原因として、地球表面の気温が平均して高くなっていくこと。海面の上昇、異常気象の発生、農業生産や生態系への影響などが懸念される。

◆地区計画

…都市計画法に基づき、特定の地区を対象として、その地区にふさわしい良好な環境を整備・保全するために、建物の用途や意匠、道路や公園の配置等を住民の意見を反映しながら市町村が細かく定めること。

◆地方分権

…国から地方公共団体への権限移譲を推進し、地方公共団体の自主性・自立性を高め、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図ること。

◆中山間地域

…都市や平地以外の中間及び山間農業地域等をさす。山林や傾斜地が多く、生産条件は不利だが、その豊かな自然は景観や環境保全などの公益的機能を果たしており、また、暮らしに根差した伝統・文化が息づく地域でもある。

◆低未利用地

…利用されていない土地、または個々の土地の立地条件に対して利用形態が社会的に必ずしも適切でない土地（例えば、地価水準に比べかなり低い収益しか得られていない土地など）をいう。

◆ＤＩＤ区域

…人口集中地区のこと。人口密度の高い調査区（人口密度が１ｋ㎡当たり約 4,000 人以上）が都市内で互いに隣接して人口 5,000 人以上の地域を構成している調査区をいう。

◆ＴＭＯ

…Town Management Organization の略で、中心市街地における商業まちづくりをマネージメント（運営・管理）する機関をいう。様々な主体が参加するまちの運営を横断的・総合的に調整し、プロデュースするのが役割である。十日町ＴＭＯは平成 15 年に認可を受け、各種事業に積極的に取り組んでいる。

◆都市機能

…都市の持つ様々な働きやサービスのことで、業務、商業、居住、工業、交通、行政、教育等の諸活動によって担われる。

◆都市基盤

…道路、公園、上下水道などの都市を形成する都市施設の中でも根幹的なもの。

◆都市計画区域

…都市計画法の適用を受ける土地の区域。具体的には、中心の市街地を含み、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通など一体の都市として整備・開発・保全する必要がある区域。

◆都市計画提案制度

…まちづくりに対する地域住民の取り組み等を都市計画に反映させるため、土地所有者、まちづくりＮＰＯ、開発事業者等が、都市計画の決定または変更の提案をすることができる制度。

◆都市計画道路

…都市計画法に定められた都市施設の一つで、都市計画決定により指定される道路。

◆都市公園

…都市公園法における都市公園は、都市計画区域内に設置する公園または緑地とされ、機能、目的、利用対象、誘致圏域などにより街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園、都市緑地などに細分化されている。

◆都市施設

…道路、公園など都市の骨格を形成し、円滑な都市活動を確保し、良好な都市環境を保持するための施設の総称。

◆都市的土地利用

…住宅地、工業用地、事務所、店舗用地、一般道路など、主として人工的施設による土地利用をいう。

◆土地区画整理事業

…土地区画整理法に基づく事業。土地所有者等から土地の一部を提供してもらい（減歩）、それを道路や公園等の新たな公共用地として活用し、整然とした市街地を整備することによって居住環境を向上させ、一方で宅地の利用増進を図る。

【な行】

◆日本風景街道（シーニックバイウェイ・ジャパン）

…地域が主体となって、道路から見た風景や街並みなどを美しく魅力あるものにすることで、訪れる人と迎える地域住民の交流を促進し、観光復興や地域の活性化を目指す新しい取り組みのこと。十日町市では、「越後妻有里山回廊」が北陸の「日本風景街道」として認定されている。

◆農業集落排水事業

…農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水を処理する施設を整備する事業。

【は行】

◆パークアンドライド（Ｐ＆Ｒ）

…交通需要マネジメントの一形態。交通混雑を解消・緩和するために、自家用車の市街地中心部への乗り入れを制限し、通勤者等を周辺部に設置した駐車場からバスや列車などの公共交通機関により輸送する交通システム。

◆パートナーシップ

…共同で何かを行うための、対等な協力関係。

◆ビジットジャパンキャンペーン事業

…国土交通省が中心となって行っている外国人旅行者の訪日促進活動のこと。

◆二地域居住

…都市住民が、本人や家族のニーズ等に応じて、多様なライフスタイルを実現するための手段の一つとして、農山漁村等の同一地域において、年間で１ヶ月以上の中長期、あるいは定期的・反復的に滞在すること等により、当該地域社会と一定の関係を保ちつつ、都市の住居に加えた生活拠点を持つこと。

◆ブロードバンド

…高速で大容量の情報を送受信できるアクセス回線。最近はインターネットの普及でさらに高速、広帯域の回線が望まれるようになった。光ファイバー、ＡＤＳＬ、ＣＡＴＶ回線を利用したブロードバンドが注目されている。

【ま行】

◆まちづくり三法

…改正都市計画法、大規模小売店舗立地法（大店立地法）、中心市街地活性化法の 3 つの日本の法律を総称していう。平成 19 年に中心市街地の活性化等を目指し、全面改正された。

◆モータリゼーション

…自動車が大衆に広く普及し、生活必需品化すること。英語で「動力化」、「自動車化」を意味する言葉。

【や行】

◆優良農地

…集団的に存在する農地や農業生産基盤整備事業の対象となった農地等の良好な営農条件を備えている農地。

◆雪冷熱エネルギー供給システム

…雪室を作って農産物を夏場まで保存したり、冷熱を利用して冷房に利用したりするなど、雪をエネルギー源として有効利用するしくみ。

◆ユニバーサルデザイン

…子どもや大人、外国人、障害を持つ人や高齢者などすべての人にとって使いやすい製品や空間、社会のしくみ。

◆用途地域

…都市機能の維持・増進、住環境の保護などを目的とした土地の合理的利用を図るため、都市計画法に基づき、建築物の用途、容積率、建ぺい率などについて制限を行う制度。

【ら行】

◆ライフライン

…水道、下水道、電気、ガス、電話等人々の日常生活を維持するために不可欠な供給システム。

◆レクリエーション

…仕事や勉強などの疲れを癒し、精神的・肉体的に新しい力を盛り返すための休養、娯楽。